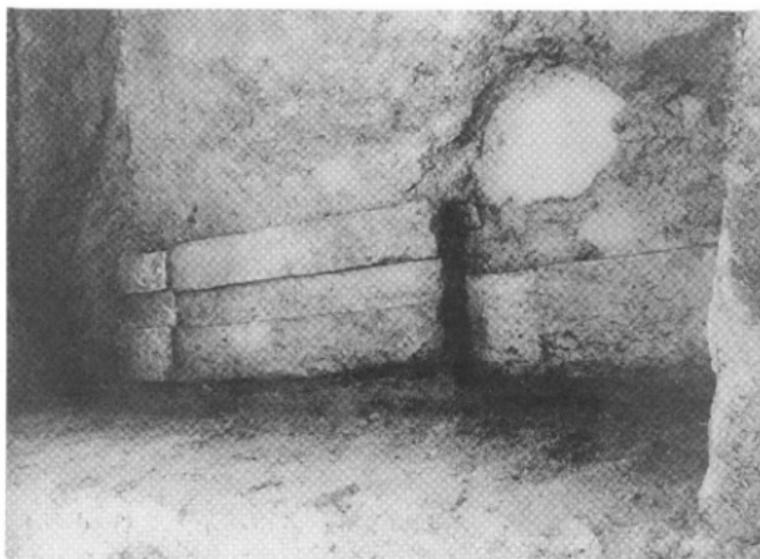
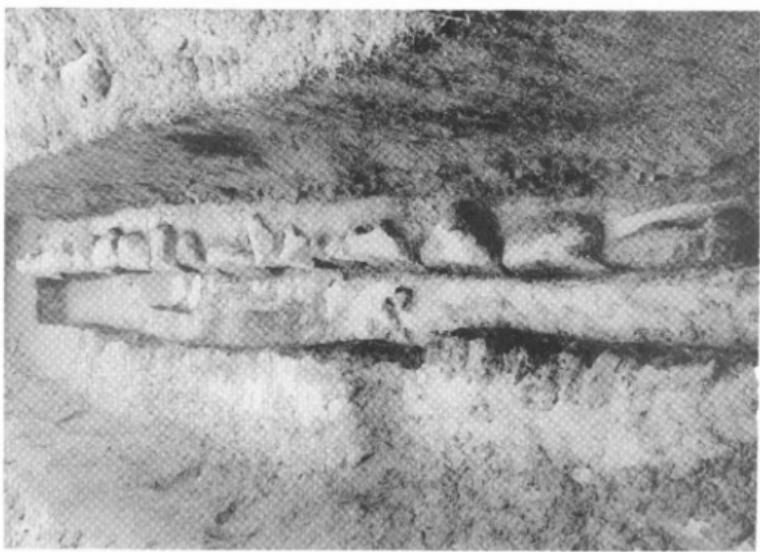


図版第17. 西門基壇



西側地盤石



北側石及び築地基礎地形

図版第18、西門基壇SIT



北側石列



SIT雨溝、瓦出土状況



EIT 菜地基地形一溝



同上西溝

図版第20、南築地

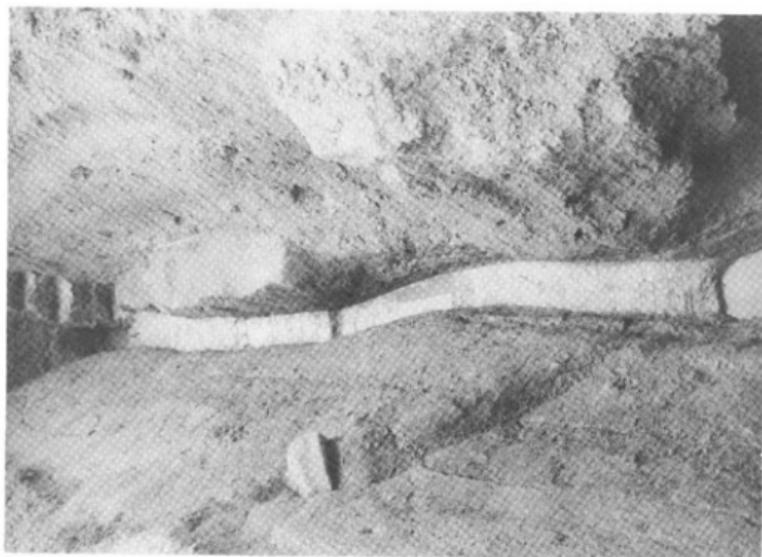


内面より



外面より

圖版第21, SW₃T, 墓

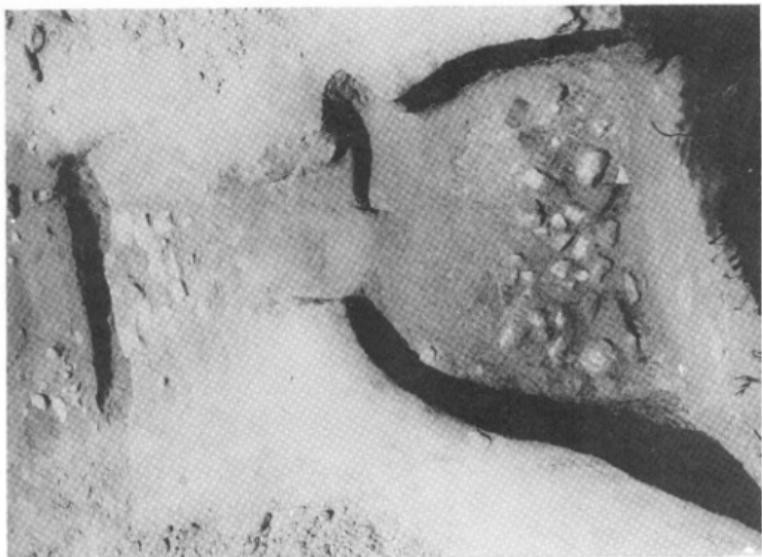


SW₃
T

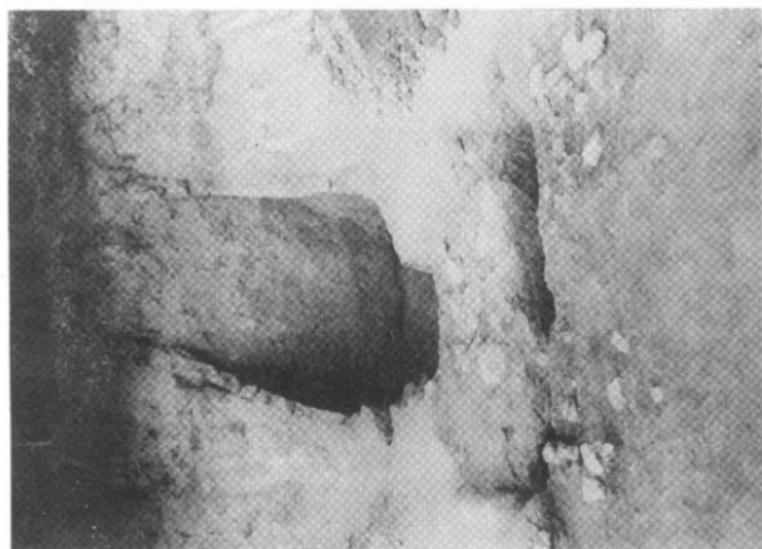


器

図版第22、案

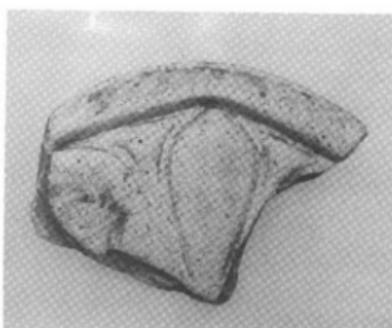
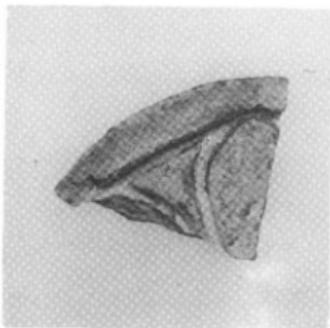


案

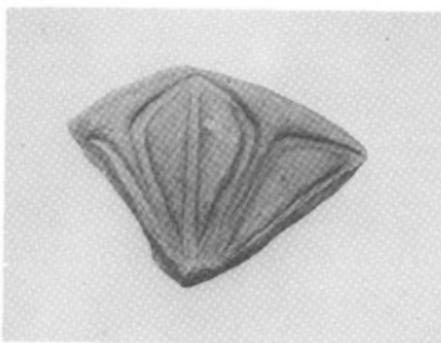


案

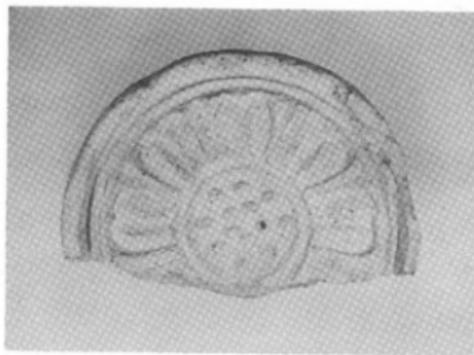
図版第23、出土瓦



賞田廃寺第Ⅰ様式瓦

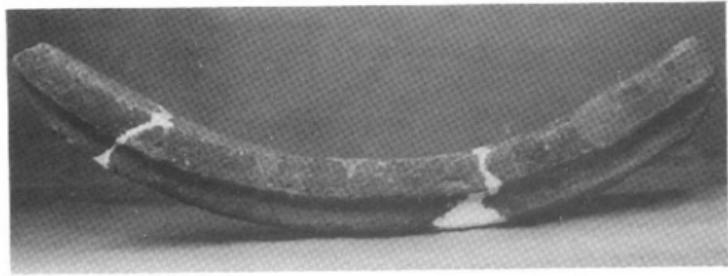
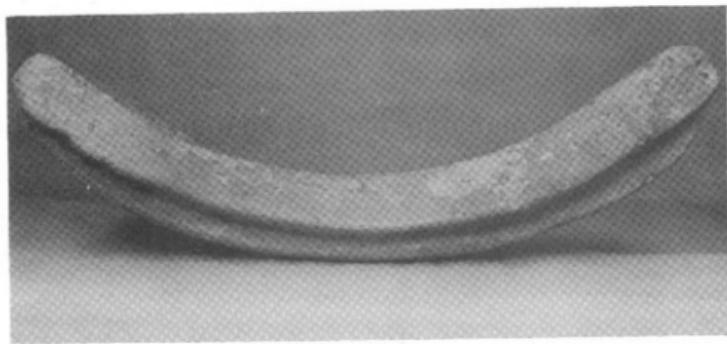
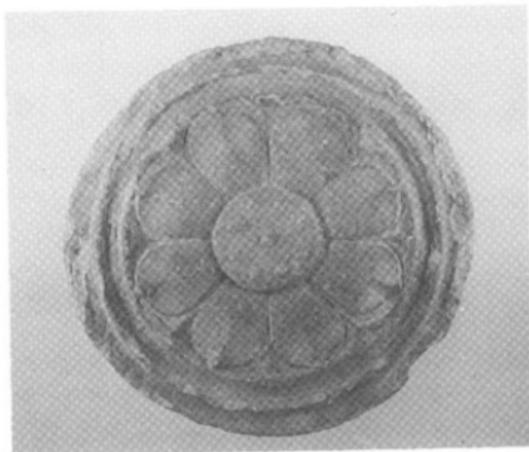


同上



賞田廃寺第Ⅳ様式瓦

図版第24、出土瓦



賞田廃寺第Ⅱ様式瓦

図版第25、出土瓦



賓田廐寺第Ⅲ様式瓦

図版第26、出土瓦



賞田廃寺第V様式瓦

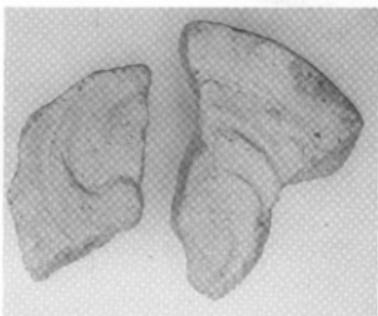


賞田廃寺第VI様式瓦

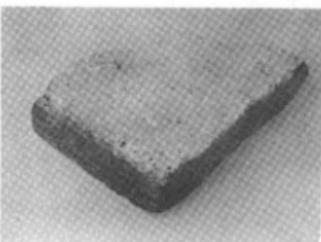
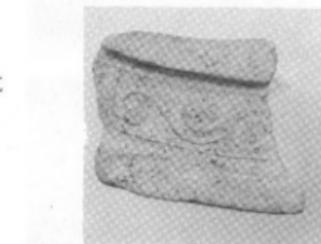
圖版第27. 出土瓦



賞田廐寺第Ⅴ樣式瓦



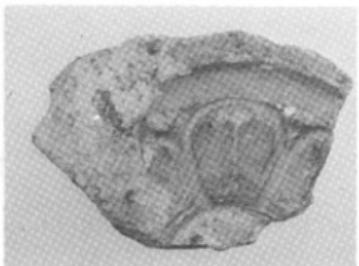
賞田廐寺第Ⅴ樣式瓦



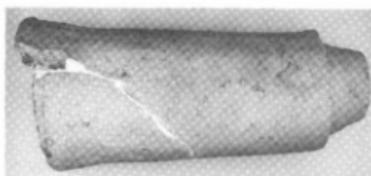
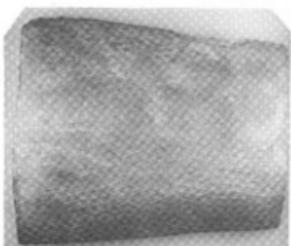
賞田廐寺白鳳瓦

埴

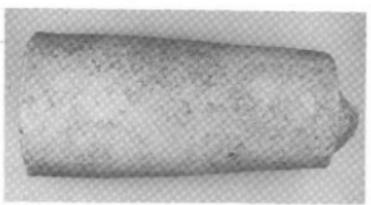
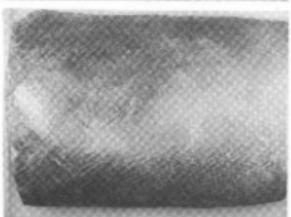
図版第28, 出土瓦



棗地瓦

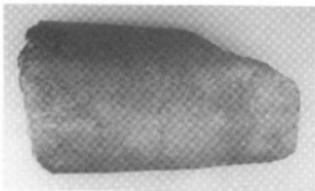
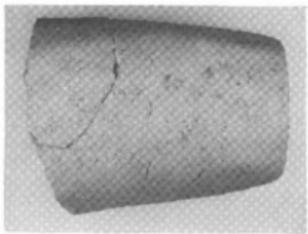


軒丸瓦

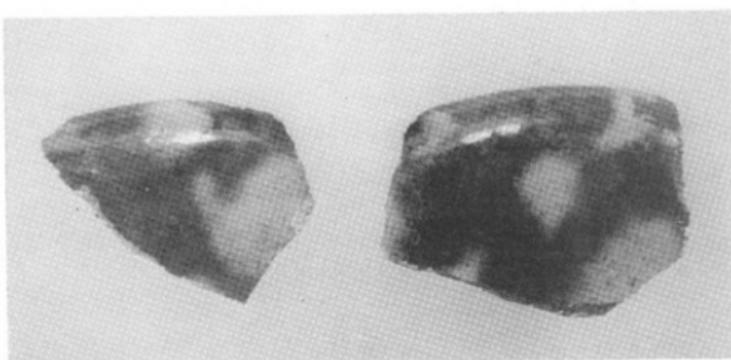
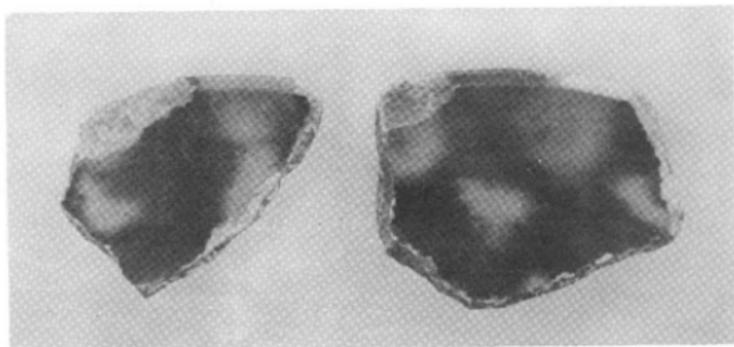


平瓦

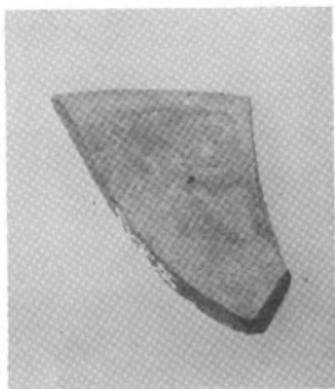
丸瓦



行基葺丸瓦

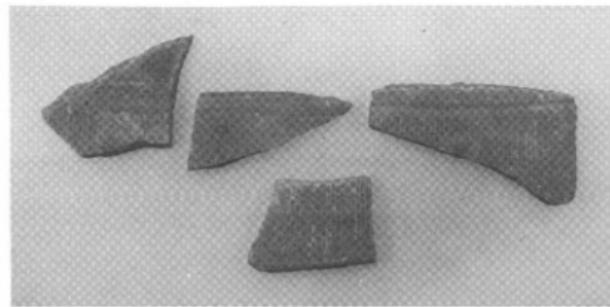
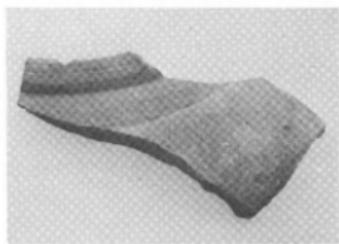
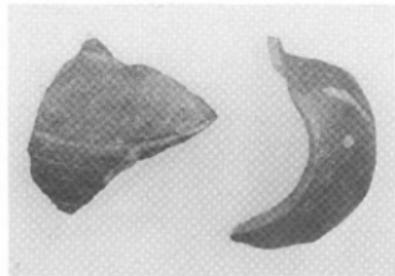
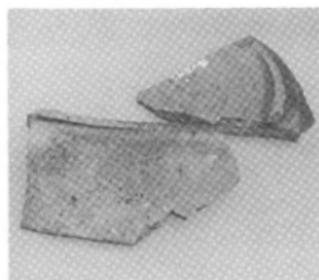
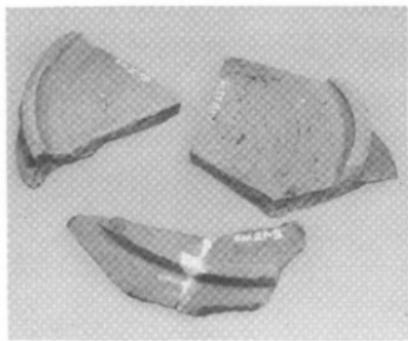
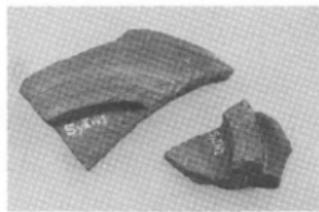
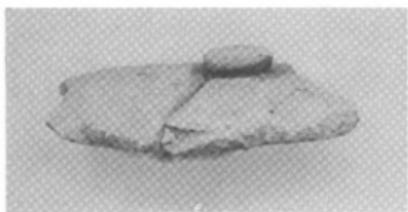


三 彩

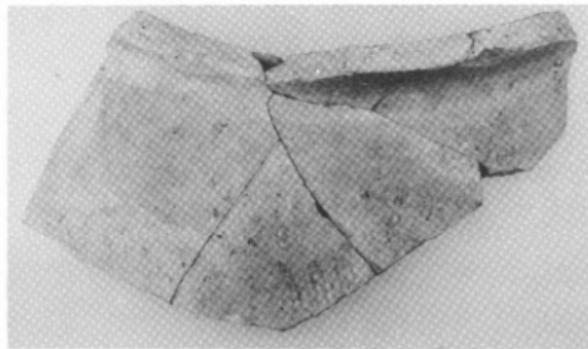
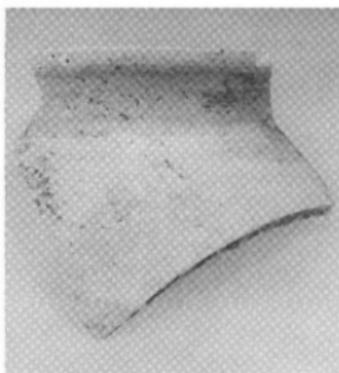
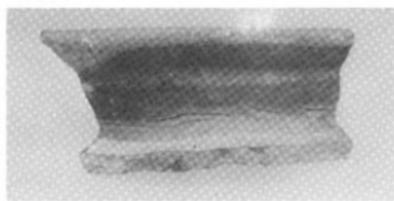
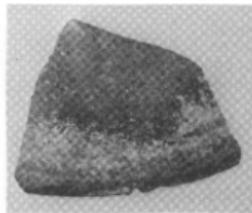
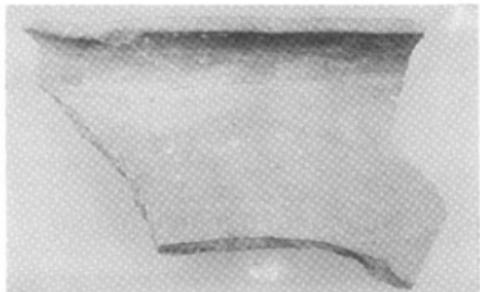


綠 粗

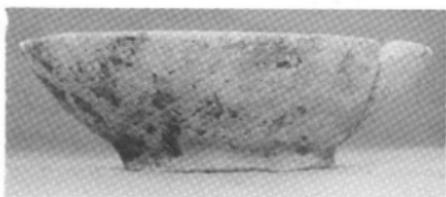
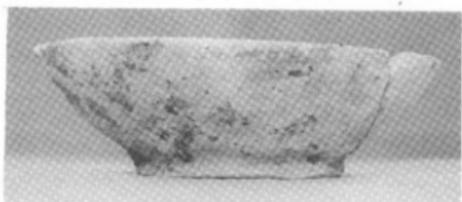
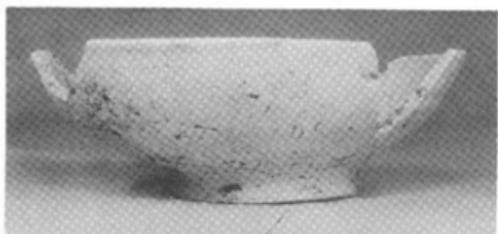
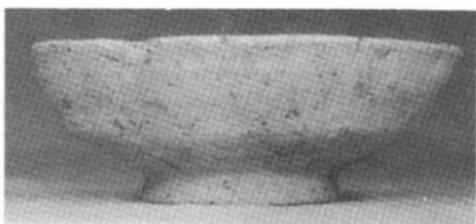
圖版第30，須惠器



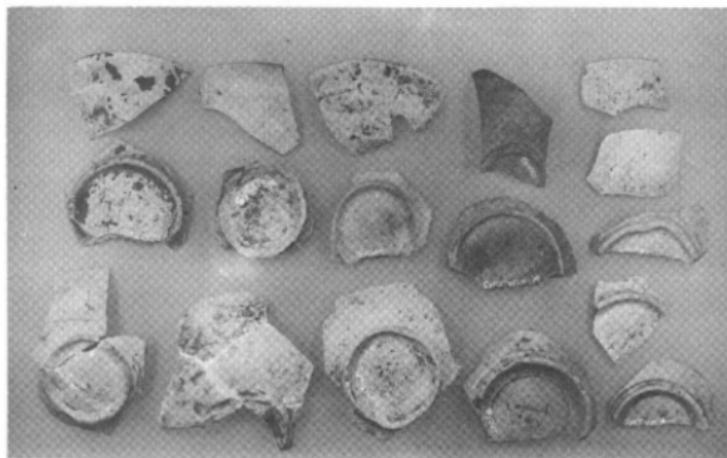
図版第31、須恵器



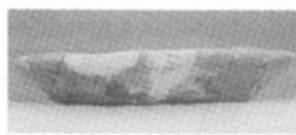
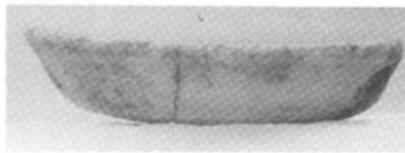
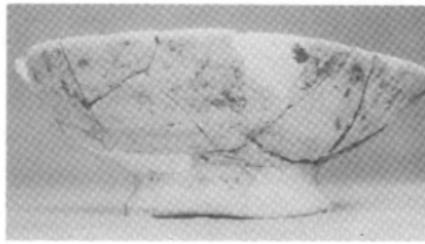
圖版第32，須惠質土器



圖版第33，須惠質土器，土師器

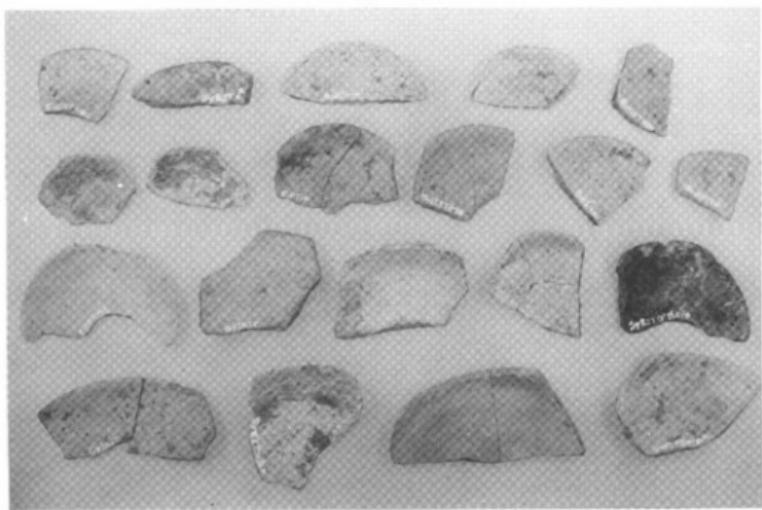


須惠質土器

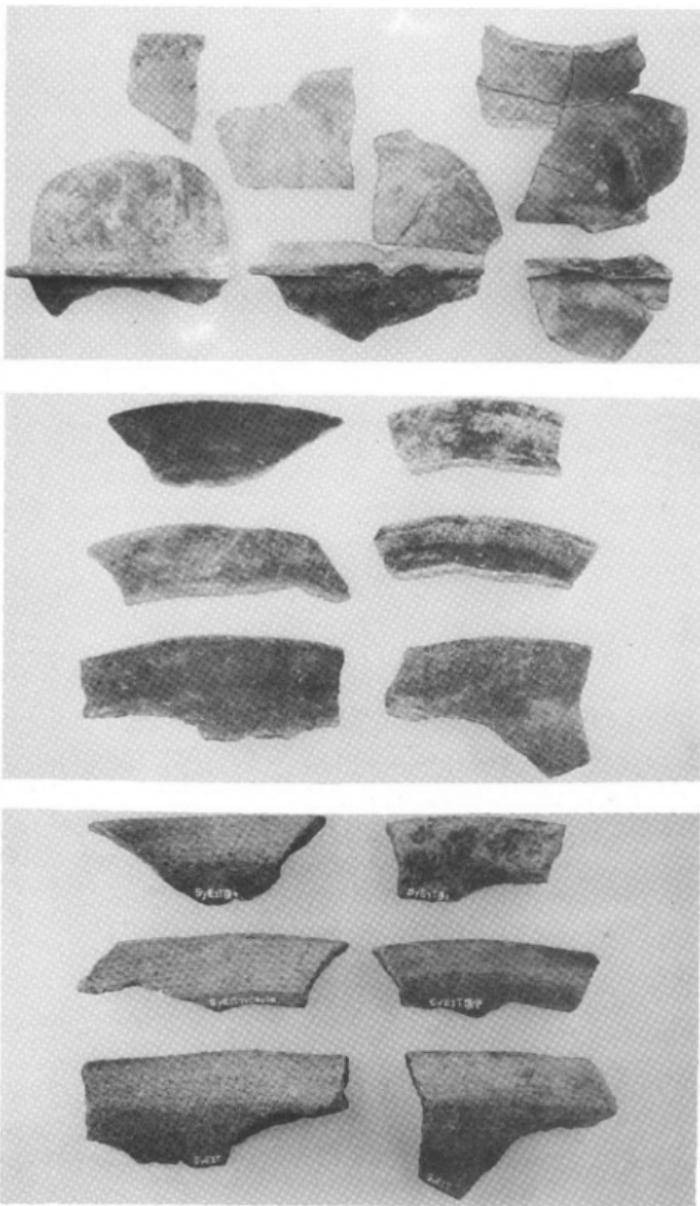


土 師 器

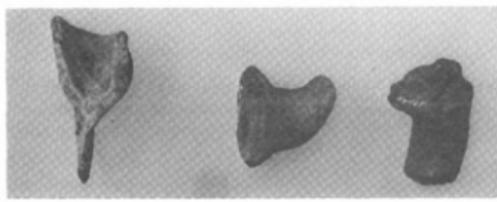
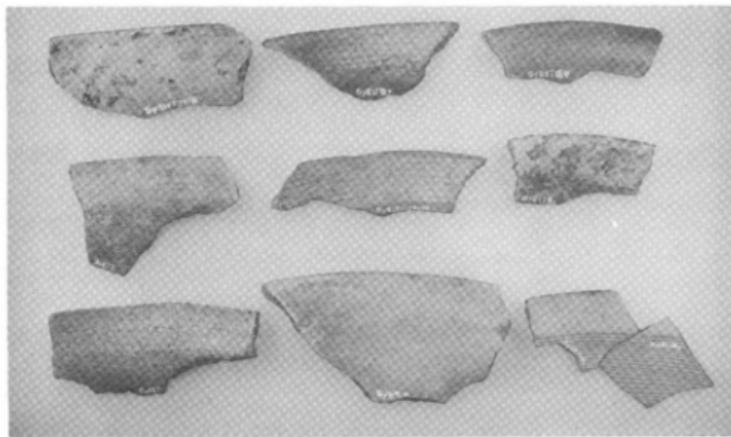
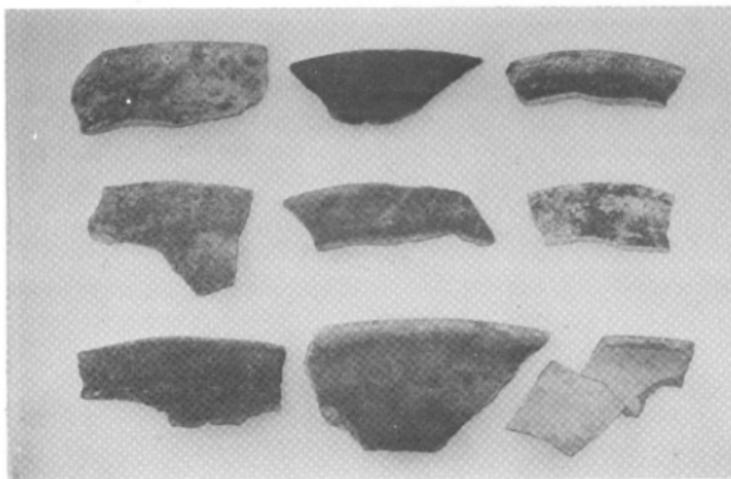
圖版第34. 土師器



図版35. 土釜、土鍋

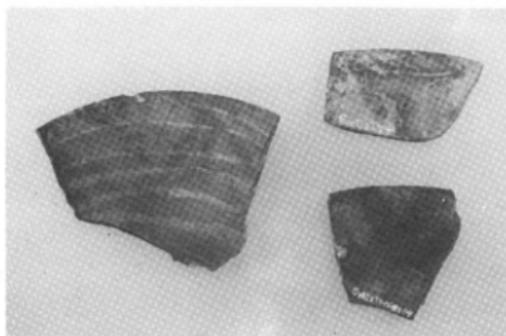


圖版36. 土 鍋

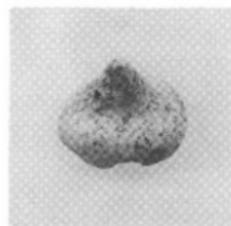


取 手

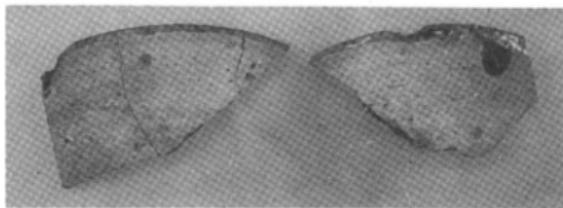
図版37、瓦器、磁器、その他



瓦 器



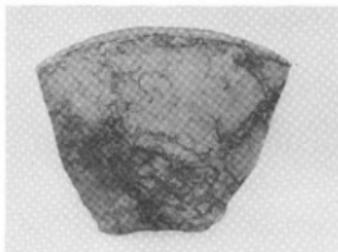
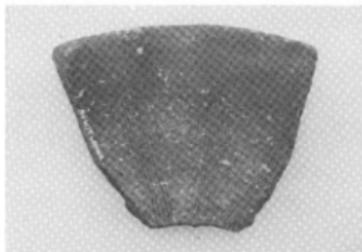
土 鈴



古瀬戸おろし台

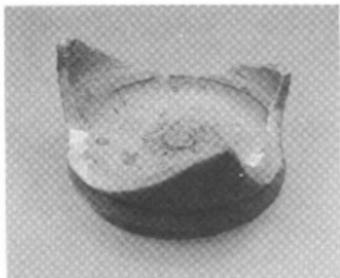
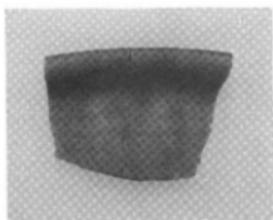
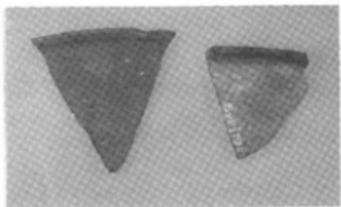
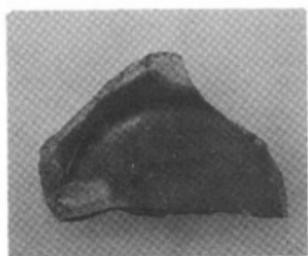
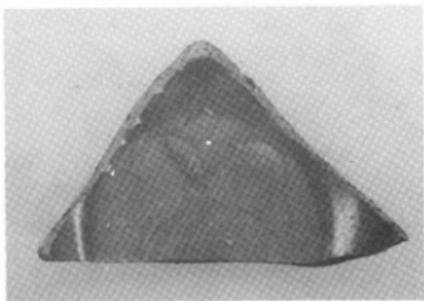


土 錘

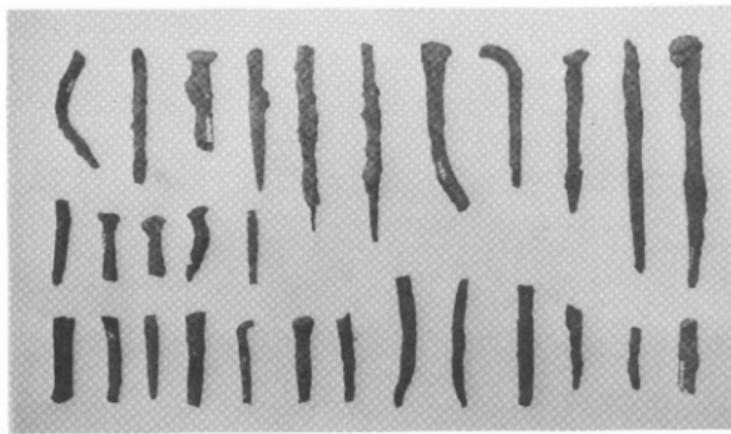
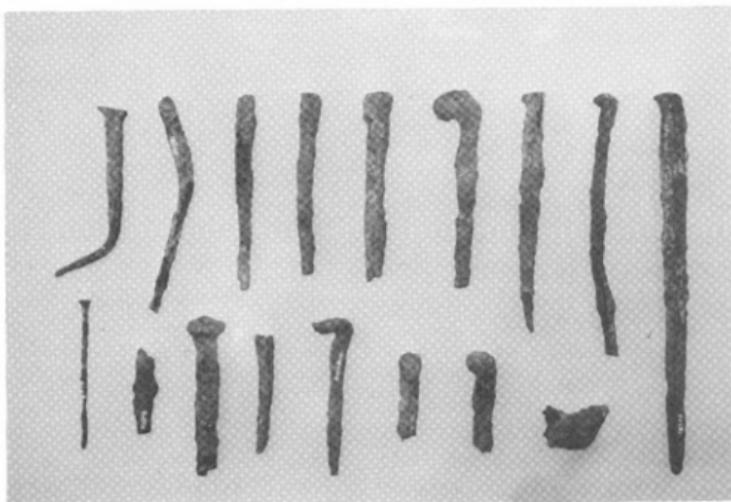


備 前 焼

图版38，中国製磁器，鬼瓦片



図版39. 鉄 器



あとがき

岡山市にとって、このたびの賞田廃寺の発掘調査は、開発と文化財保護が論じられている今日において、画期的な発掘であった。

すなわち、宅地開発によって表出した廃寺跡の保護のため、宅地の移転をして保護調査を実施するという今までにない積極策の打ち出しであった。

それだけに、調査の実施には困難な問題多かったが、関係各位のご理解によって貴重な成果をあげて調査は終了した。

この史跡はすでに国指定となることが確定したが、課題は今後に多い。

すなわち土地買収、史跡公園としての整備、一般への公開など、今までにない大計画の推進になるわけである。関係者のいっそうのご協力をお願いしたい。

なお、本報告書作成までに、出宮主事を中心に精力的な作業をすすめていただいた職員に対して敬意を表する次第である。

賞田廃寺の盛時のおもかげと、廃寺の史跡整備の姿をむねにえがきながら…………。

昭和46年3月

岡山市教育委員会 社会教育課長

松 本 猛

箕田廃寺発掘調査報告

昭和46年3月31日 発行

発行 箕田廃寺発掘調査団
岡山市大供1-1-1

印刷 東洋印刷
岡山市門田屋敷2-1-12